

## 飲食店に併設のカラオケボックス オーダーシステムを活用し効率化を図る



▲マネージャーの車谷雅人氏

### テナント空きスペースを有効活用 鍋・焼肉店との相乗効果狙う

今回、(株)スターランド「スーパースター」導入店レポートとして紹介するのは、富山県黒部市の「カラオケ02」である。同店は富山県内で飲食店を複数店舗展開する(有)はなとが2015年8月にオープンしたカラオケ店で、同社が経営する飲食店「赤から黒部店」に併設している。

はなとにとってカラオケボックスの経営は同店がはじめてとなるが、カラオケボックス開設の経緯について、同店マネージャーの車谷雅人氏は次のように語る。「2015年1月に赤から黒部店をオープンしましたが、売上は好調に推移しています。テナントとして営業していますが、借りている建物の半分は使用していませんでした。この空きスペースを有効活用しながら、赤からとの相乗効果が見込め、なおかつ人手があまりかからないビジネスは何かあるかを検討した結果、カラオケボックスが最適と判断しました」。

カラオケ02は黒部市役所から徒歩5分足らずの市中心部に立地する。周辺には競合のカラオケボックスがないため、人口4万人という市場規模ながらも、ビジネス的には十分にいけると判断し、開設

に至った。

### システムのカスタマイズが容易で 使い勝手に優れる

カラオケ02は開業に合わせ、スーパースターシリーズのPOSシステムと飲食オーダーシステムを導入している。スターランドのシステムは業者から紹介を受けていたが、どの会社のPOSシステムがベストなのかインターネットでいろいろ調べたが、最終的にスターランドに行きついたらと車谷マネージャーは指摘する。

「ルーム数は13室ですが、スタッフ2人のオペレーション体制でも手厚いサービスが提供できるよう全室にオーダーリングシステムを導入しました。最近では電話でのオーダーを嫌がるお客さまがふえていますので、お客さまからするとサービスの向上ですし、運営サイドからすればオペレーションの効率化につながります」。

開業から半年が経過し、スーパースターシリーズの使い勝手について尋ねると、「導入後のカスタマイズが自分たちでも簡単にできる点がいいですね。たとえば、料金設定の変更や飲食メニューの入替えもむずかしくありません。カスタマイズが容易なのは、直感的に操作ができることです。またサポート体制がしつ



▲建物左が「カラオケ02」。右側が鍋と焼肉を提供する「赤から黒部店」。「赤から黒部店」の営業は17時からで、同店から流れてくる客は多い

かりしているのも、こういうことがしたいと電話で問い合わせして変更ができるのもありがたいです」と車谷マネージャーは語る。時間帯や年齢などにより複雑に変わる料金体系がカラオケボックスの特徴だが、スーパースターシリーズは新規参入企業にとって運営をサポートする強い味方といえる。

さて営業面では、夜間は「赤から黒部店」から流れてくる客が多いため一定の利用が見込めるが、昼間の時間帯はまだまだ集客が弱いという。そのため、館内バリアフリー、多目的トイレ完備という強みを活かし、知的障がい者施設や身体障がい者施設などの福祉施設のほか、地域のカラオケ同好会にもアプローチし、昼間のルーム稼働を高める営業活動を積極的に推進していくという。



▲各部屋に飲食オーダーシステムを導入する。フードメニューは併設の「赤から黒部店」と重複しないよう工夫している



▲フロントPOSシステム

### 「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ

(株)スターランド  
[本社] 静岡県藤枝市青木3-14-1  
[東京オフィス] 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-21

0120-007-009  
FAX▶054-644-5034  
URL▶http://www.starland.co.jp